





私共、モジュール株式会社は、2000年4月にPC/PCサーバーに特化した企業の情報システム部門のアウトソーシングを主業務として発足致しました。以来、常に「お客様にとってこれが最適か？」を自問自答し、妥協のないサービスを提供し続ける事で、高い信頼と評価を頂いております。当社の強みは、特定のメーカーや製品に縛られず常にお客様に最適なサービスやシステムをご提供可能な「中立性」、それらをお客様のご要望に応じてフレキシブルにご提供出来る「オーダーメイド型サービス」、そのために情報システム部門が抱える業務のアウトソースに特化した「利用技術の専門性」、そして「お客様との継続的な関係性」です。私たちは、これからもお客様と共に成長していくために、このスタンスを守り続け、そして磨き続けてまいります。

さて、当社の2008年5月期ですが、混沌とした経済環境の中で、今後の飛躍のために今一度基礎を固める事業年度と位置付け、「本業であるITサービスへの集中」、「継続サービス契約の長期化・大型化」を中心に「業務効率の向上等の内部努力の継続」にも取り組んでまいりました。結果、ITサービス分野は大きく伸び、顧客数等も向上、受注残も十分なレベルに達しているものの、経済環境の影響を受け商品販売（調達代行サービス）が振るわずに、減収減益となりました。2009年5月期には「ITサービス分野への更なる本業回帰/長期化への取り組み」を中心に堅実な事業基盤の基礎固めを行うと同時に、「中小企業向けのパッケージ型ITインフラサービスの開始」、「事業や資本の提携を含んだ、現在の事業領域である小型ITのインフラサービスの周辺領域への進出」等を行いITアウトソース分野での成長に挑戦します。

2008年5月期も関係者の皆様にはご支援・ご指導頂きました事を心より感謝申し上げます。2009年5月期においても継続的な事業の成長は勿論、企業価値の向上、そして上場企業の社会的な責任の全うに努めてまいりますので、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2008年8月

代表取締役

松村 明

## 当期の概況

### 成長するための踊り場的な1年

サービスの標準化、業務効率化、主力のITサービスへの集中等に注力した年

### 主力のITサービスが好調

既存顧客との継続的なサービス契約が好調（前期比41.3%増）  
反面、商品売上は顧客事情による案件の遅延等により低調に推移（前期比37.4%減）

### 統合型サービス契約が増加

IT資産のレンタルを含む契約が増加し、サービス提供のための資産も増加

### 業務提携・資本提携を開始

周辺事業領域への進出のため、業務提携や資本提携を開始し、2007年11月に初の出資を行う

## 次期の見通し

### ITサービスへの回帰を加速

人員・組織の強化を進め、高利益体質の基礎を更に固めるため、微増計画

### オーダーメイド型の既存サービスは堅実に

顧客企業との密接な関係を堅持する仕組みを構築

### パッケージ型の中小企業向けサービスを開始

一定の先行投資を行い、今後の新たな収益源へ

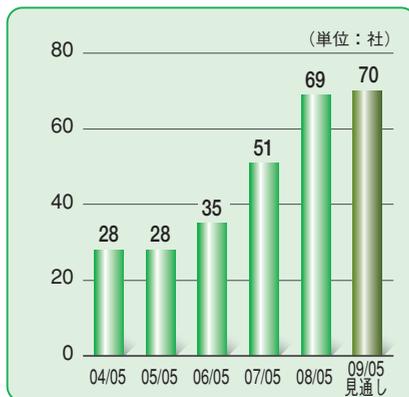
### 将来への積極的な活動

事業提携や資本提携、本業強化のM&A、全国展開等

## 年間継続契約額



## 顧客数



## 1株当たり配当額および配当性向



# 財務諸表 Financial Statements

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第 8 期	第 9 期
	(2007年 5 月31日現在)	(2008年 5 月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	658,980	947,701
固定資産	546,665	801,854
資産合計	1,205,646	1,749,556
<b>負債の部</b>		
流動負債	596,783	702,103
固定負債	21,423	409,758
負債合計	618,206	1,111,862
<b>純資産の部</b>		
株主資本	586,148	627,456
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	154,217	154,217
利益剰余金	177,710	219,018
評価・換算差額等	1,291	△30
その他有価証券評価差額金	1,291	△30
新株予約権	—	10,268
純資産合計	587,439	637,693
負債純資産合計	1,205,646	1,749,556

## 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第 8 期	第 9 期
	2006年 6 月 1 日～ 2007年 5 月31日	2007年 6 月 1 日～ 2008年 5 月31日
売上高	2,330,490	2,017,554
売上原価	1,872,050	1,587,484
売上総利益	458,439	430,069
販売費及び一般管理費	319,672	320,397
営業利益	138,766	109,672
営業外収益	15,719	3,064
営業外費用	10,618	9,997
経常利益	143,868	102,739
特別損失	309	73
税引前当期純利益	143,558	102,665
法人税、住民税及び事業税	61,652	36,838
法人税等調整額	788	4,243
当期純利益	81,117	61,583

### 貸借対照表 POINT

- ・流動資産  
売上債権の増加等により、流動資産が増加いたしました。
- ・固定資産  
サービス契約増加に伴い、賃貸用資産を取得したこと等により、固定資産が増加いたしました。
- ・負債の部  
サービス提供のための固定資産取得に伴い、長期借入を実施し、負債合計が増加いたしました。

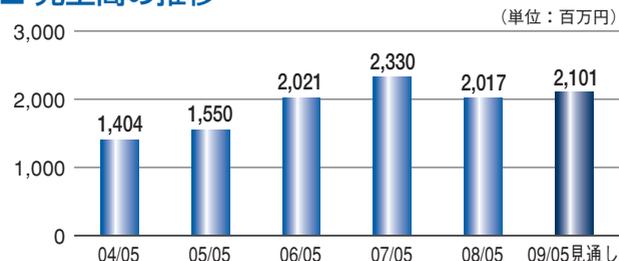
### 損益計算書 POINT

- ・主力事業であるITサービス売上が大きく伸長したものの、第4四半期に見込んでいた顧客事情による案件の遅延等が影響し、売上・利益共に低調に推移いたしました。

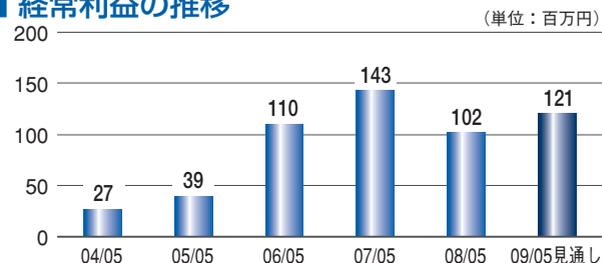
## ■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：千円)

科 目	第 8 期	第 9 期
	2006年 6 月 1 日～ 2007年 5 月 31 日	2007年 6 月 1 日～ 2008年 5 月 31 日
営業活動による キャッシュ・フロー	427,397	△37,900
投資活動による キャッシュ・フロー	△381,673	△349,990
財務活動による キャッシュ・フロー	235,783	367,563
現金及び現金同等物の 増加額	281,507	△20,327
現金及び現金同等物の 期首残高	174,341	455,848
現金及び現金同等物の 期末残高	455,848	435,520

## ■ 売上高の推移



## ■ 経常利益の推移



## ■ 株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位：千円)

第 9 期 2007年 6 月 1 日～ 2008年 5 月 31 日	株主資本				評価・換算差額等	新 株 予約権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
2007年 5 月 31 日 残高	254,219	154,217	177,710	586,148	1,291	—	587,439
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△20,276	△20,276			△20,276
当期純利益			61,583	61,583			61,583
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)					△1,321	10,268	8,946
事業年度中の変動額合計	—	—	41,307	41,307	△1,321	10,268	50,254
2008年 5 月 31 日 残高	254,219	154,217	219,018	627,456	△30	10,268	637,693

**【Q】モジュールの業務内容が分かりにくいのですが簡単に教えてください。**

「企業の情報システム担当者に代わって管理業務やサポート業務を行う事」です。派遣ではなく業務を請負う契約です。上場企業をはじめとする顧客企業から、年間で約7億円の継続的なサービス契約を頂いています。また、この契約を中心に様々なITサービスをご提供しています。お客様からは、IT業界のメーカー系列に偏らない中立性と企業の中でITをどう使うかという利用技術分野の専門性を高く評価頂いています。

**【Q】今期は減収減益ですがその理由はなんですか？**

やはり、景気減速や原材料費高騰等からのIT投資抑制の流れが影響しています。本業中の本業であるITサービスは好調ですが、商品販売は目標を下回ってしまいました。また、モジュールは人が行う仕事を人で置き換える単純なアウトソース事業ではなく、人手とコンピュータシステムを組み合わせた高付加価値・高収益なアウトソース事業を目指しているのですが、そのような企業体質に近づいていくための力を蓄える期間であった事も影響しています。

**【Q】来期について教えてください。**

まずは上場以降行ってきたITサービスの標準化、業務の効率化をさらに追及しながら、本業であるオーダーメイド型のITサービスに集中し、新規顧客の獲得増を計画しています。

また、中小企業向けのパッケージ型のITサービスを展開予定です。あわせて、業務提携や資本提携を軸に周辺事業への拡大も検討しています。

**【Q】将来の企業像はどんなものですか？**

モジュールの夢は「小型コンピューターの基盤環境の利用技術とそのサービスで日本でNo.1」になることです。もう少しわかりやすくいうと「日本の多くの企業の方々にモジュールの安定したパソコン環境をご利用頂き、パソコンやサーバー、ネットワーク等でご苦労される事がなくなる事」です。少し時間がかかるかもしれませんが、現在の標準化技術と利用技術を突き詰めて、「日本有数のITアウトソースサービス企業」を目指してまいります。

**【Q】最後に一言お願いします。**

私共、モジュールのビジネスは一見派手さはありませんが、お客様企業と長くお付き合いし、また長期間に渡り段階的に成長が見込めるビジネスです。一般的なデータには表れにくいのですが顧客基盤や財務内容も長期的安定性が高いと自負しています。株主様をはじめとする関係者の皆様にも、どうか中長期的な視点で弊社をご支援賜りたく謹んでお願い申し上げます。

当社ホームページにて、今後も積極的に情報を掲載致します。  
ぜひご覧下さい。  
(<http://www.modulat.com>)  
皆様のご意見をお寄せ頂きますよう、よろしくお願い致します。



## ■ 会社概要 (2008年5月31日現在)

**会社名** モジュール株式会社  
**所在地** 〒107-0052  
 東京都港区赤坂二丁目10番9号  
 TEL：03-5575-5721  
 FAX：03-5575-0633  
**設立** 1999年9月  
**資本金** 254百万円  
**従業員数** 50名（臨時従業員を含む）

## ■ 役員 (2008年8月27日現在)

代表取締役 松村 明  
 取締役 高緑 秀行  
 取締役 徳永 淳子  
 取締役 木原 礼子  
 常勤監査役 山田 義範  
 監査役 飯塚 麻実

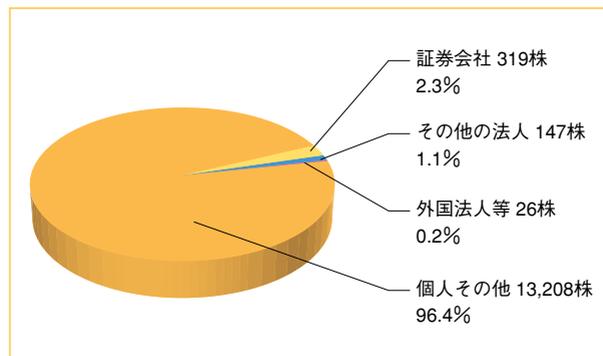


## ■ 株式の状況 (2008年5月31日現在)

発行可能株式総数 20,000株  
 発行済株式の総数 13,700株  
 株主数 840名

株主名	持株数(株)	保有比率(%)
松村 明	8,233	60.1
松村 富美子	270	2.0
齋藤 嗣雄	250	1.8
小倉 誠	241	1.8
奥 誠一郎	110	0.8
高緑 秀行	107	0.8
秋山 哲雄	98	0.7
松岡 里佳子	96	0.7
佐野 美也子	94	0.7
株式会社シンカーミクセル	85	0.6

## 所有者別株式分布状況



事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会 毎年5月31日 期末配当金 毎年5月31日 中間配当金 毎年11月30日
株主名簿管理人	そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
(電話照会先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.modulat.com ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場金融商品取引所	大阪証券取引所ヘラクレス市場

## 株主の皆様のお声を お聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 3043



携帯電話からもアクセスできます  
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## モジュール株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-9  
ラウンドクロス赤坂5F



当社は、大和インベスター・リレーションズ株式会社が選定する2008年「インターネットIR(投資家向け広報)サイトの優秀企業賞」を受賞しました。